



やだりゅうのすけ 矢田龍之介さん(サッカー)

南小学校卒業、南中学校3年生
1FC川越水上公園所属 JFA U-16日本代表候補
鶴ヶ島の好きなところ
「大きな公園が多いところ。いつも南近隣公園で自主練習しています」



異例の飛び級

昨年、U-16日本代表候補として、トレーニングキャンプに3回参加しました。U-15世代からの「飛び級」招集は、異例の快挙です。「知っている人もあまりいなくて緊張しましたが、サッカーをやっているうちに馴染んできました」と振り返ります。

U-16でのプレーについて、「ディフェンスの強度がすごく高くて、すぐボールを取られてしまうことが多いので、常に顔を上げるということを意識してやらないといけないです」と語り、掴んだチャンスをものにすべく、努力を続ける矢田さん。世代を引く張るプレーヤーとして、今大きな期待が寄せられています。

サッカーとの運命の出会い

兄の影響で野球をやっていたが、「2014年にブラジルで開催されたワールドカップをテレビで見て、これだっと思っていました」と語るこの瞬間が、サッカーとの運命の出会い。小学2年生でした。その後は、自分で少年団を見つけ、そこでサッカーをやることと母親に直談判したといいます。

「最初はボールで遊ぶのが楽しくてやっていました。そのうち、ポジションニングなどサッカーを学ぶのが楽しくなってきました。技術も

高められたらもっと楽しいなと思いつきながら、毎日やっています」と目を輝かせます。出会った瞬間からずっと、矢田さんにとってサッカーは特別な存在のようです。

故郷を離れて踏み出す一歩

4月には、静岡の高校に進学し、清水エスパルスユースに加入します。「サッカーに集中して取り組める環境でしっかりと自分を磨いて、高卒でプロを狙いたいです」と意気込み、3年間の寮生活についても、「不安はない」と断言。複数のJチームから声がかかり、チームの練習に参加した矢田さんですが、清水エスパルスは、中学入学当初から矢田さんを見守り、最初に声をかけてくれたJチームだそう。「中学2年生の頃から練習に参加したりして、エスパルスのサッカーを感じて、ここなら成長できると思った」と、決断の理由を教えてくださいました。

日の丸を背負い、世界と戦う

矢田さんは、来年のU-17ワールドカップを目指す世代。「ボランチとして試合をコントロールし、自分で点を入れ、試合を決められる選手になりたい」と目標を掲げ、代表選出を目指します。代表のブルーのユニフォーム姿の矢田さんは、きつとピッチ上で大きな輝きを放つことでしょう。

編集後記

学校・家庭・地域が一体となって子どもの育成に取り組む「学校応援団」。学校の活性化や家庭・地域の教育力の向上を目指しています。子どもは、次代を担う「大切な宝」、鶴ヶ島市の未来を創造するかけがえのない存在です。子どもたちのために「できる人が・できるときに・できることを支援する・・・」。ぜひ、地域の子どもたちのために学校応援団への参加をお願いします。

ご意見・ご感想は秘書広報課広報聴担当へ
☎10200001@city.tsurugashima.lg.jp

